学校番号	301

令和８年度　地歴公民科

教科	地理歴史	科目	(学) 日本史探究演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	日本史探究　（実教出版）						
副教材等	新詳日本史、史料の基礎 210 選（新詳日本史付録（浜島書店）） 要点整理ゼミナール日本史(浜島書店)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

戦国時代から江戸時代まで（近世）を通して学習します。史料やその他の資料を使った学習も特徴の一つです。むやみに暗記するのではなく、さまざまに考えながら意味をとらえて、時代を把握することが重要です。また、過去を勉強するのは、現在をよりよく理解し未来を展望するためであることも忘れないで欲しいと思います。

2　学習の到達目標

「知識及び技能」・・近世の我が国の通史について基本的な展開を理解し知識として定着を図る。
「思考力、判断力、表現力等」・・中世から近世にかけての我が国の歴史を「ヨーロッパ人来航から始まる近代世界システム」の流れを意識しながら読み解く。
　史料・資料から事実を解明する姿勢を養い、調べたことを発表することで発信する力、表現力を身に着ける。歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
「学びに向かう力、人間性等」・・史料・資料の活用や考察などを通じて、主体的に学習する姿勢を養い、実証的考察力を身に着ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a ：知識・技能	b ：思考・判断・表現	c ：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して自国や他国の歴史・文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価基準	評価方法		
				知（a）	思（b）	主（c）
一学期	戦国大名・織豊政権・江戸幕府の成立 幕藩体制の成立と展開	戦国時代から、ヨーロッパ人の来航、織豊政権から江戸幕府の成立までの天下統一への過程と近世の封建社会の完成について考察させる。	a：近世社会の成立過程とその特色を理解している。 b：中世から近世への変化に着目して、近世社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 c：諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を深めようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	小テスト ノート 振り返りシート
		江戸幕府の諸制度・支配機構の確立と鎖国・外交について学習する。外交問題では鎖国に至った経過について考察させる。	a：幕藩体制の確立・鎖国に至った経過について理解する。 b：禁教政策とともに貿易統制の側面からも鎖国政策に至ったこととその中での世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などの根拠を示して表現している、 c：各時代の国家・社会の変容について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して自国や他国の歴史・文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	小テスト ノート 振り返りシート

二学期	江戸時代前半の文化・社会・産業の発達 幕藩体制の動揺と幕政改革	近世封建制度の確立後を学習する。諸産業・文化の発展、三都の発展などで歴史を身近なものと実感させる。	a：諸産業の発展や上方・江戸の町人文化の発達などの特色を理解している。 b：江戸時代前期の文化・経済発達について多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などの根拠を示して表現している。 c：各時代の国家・社会の変容について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して自国や他国の歴史・文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	定期考査	定期考査 ワーク シート	小テスト ノート 振り返り シート
		幕政改革・鎖国体制の動揺について、幕藩体制そのものの矛盾や18世紀末から19世紀前半の世界の流れを意識しながら学習する。	a：江戸時代後半の社会の変化・体制の矛盾などを理解している。 b：近世の国家・社会の変容、世界史の流れとの関わり等について多面的・多角的に考察し、表現している。 c：世界との関わりや国内の成熟からくる様々な矛盾について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して自国や他国の歴史・文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	定期考査	定期考査 ワーク シート	小テスト ノート 振り返り シート

三学期		19 世紀の江戸時代の化政文化について学習する。日本の近世社会の成熟につれて文化の受け手・担い手がより下級の武士や町人・農村の中堅農民層へと広がりを持つことを意識させる。	a：化政文化の特色を理解している。 b：社会・経済・文化や国際情勢の変化やその影響に着目して、主題を設定し、近世から近代への国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c：近世の国家や社会の変容に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して自国や他国の歴史・文化を尊重することの大切さについてに自覚を深めようとしている。	小テスト	定期考査 ワークシート	小テスト ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度